

昭和医科大学保健医療学部アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

昭和医科大学保健医療学部は「至誠一貫」の建学の精神のもと、「医系総合大学の特長を活かし、真心と情熱を持って保健医療の発展と国民の健康増進、福祉の向上に寄与する優れた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士の育成」を教育目標としています。そこで保健医療学部のカリキュラムを修得し、卒業時に求められる能力を達成できる学生として日々の学修と多様な経験の中から以下の能力を入学時まで身に付けている人を求めます。

《看護学科・リハビリテーション学科共通》

1. 科学的思考の基本となる理科系科目の基礎学力を有する人
2. 医療を通じた国際貢献に関心を持ち、英語の基礎学力を有する人
3. 人とかわることに強い関心を持ち、豊かな人間性と倫理観を有する人
4. 基本的なコミュニケーション能力を有する人
5. 1年次の全寮制共同生活・学修に積極的に取り組める人

《看護学科》

6. 論理的思考をもって看護を探究しようとする人
7. 自分の感情・思考・行動を省みることができる人
8. 人の痛みを感じ取ることができる人

《リハビリテーション学科理学療法学専攻》

6. 理学療法学を学ぶ目的が明確で、情熱のある人
7. 身体の構造や機能に関心がある人
8. 身体障がい、スポーツ、アート等における身体運動に関心がある人

《リハビリテーション学科作業療法学専攻》

6. 作業療法を通して、人への援助に貢献したい人
7. 個人の生活に関心がある人
8. 個人の幸せ、価値観に関心がある人